

全分野		音楽				
学年	第1学年	担当教員名	(高橋久美子)			
単位数・期間		2単位	通年	週あたりの開講回数	1回	必修選択、履修単位
授業の目標と概要		音楽美を理解し、感得することで創造的活動と知的陶冶に結びつけ、高尚な美的情操と豊かな人間性を養うことに目標を置く。生活の中に高尚な趣味を持ち、美的判断を高め、円満な人間形成ができるようになる。				
		釧路高専目標	A:100%	JABEE目標		
履修上の注意(準備する用具・前提となる知識等)		毎回の授業で小テストを行う。その内容は、個人の歌唱、器楽奏、指揮法などである。また、合奏の他、音楽史、楽典、聴音等の学習時には課題を課す。音を出すことに責任を持てるようにすること。				
到達目標		音楽の基本的な表現に必要な技術を修得できる。 音楽経験を豊かにするために必要な知識を理解できる。 優れた音楽に親しみ、音楽の美しさを味わって聞くことができる。				
成績評価方法		小テストの成績を60%、提出された課題の内容を40%として、この合計点により合否判定を行う。60点以上で合格とする。学習意欲や学習態度でプラスマイナス10段階の評価を出し、合否判定成績に加点減点し、これを最終評価とする。再試験は、課題提出と実技テストを行う。(60点以上で合格。)				
テキスト・参考書		教科書：高校音楽Iミュージックビュー(教育出版) 参考書：DVD、CD、総譜など				
メッセージ		実技の練習は効率的に行なうこと。 友人同士で助け合うことが大切です。 リコーダー、ギターキーボードは大切に使用してください。				
前関連科目				後関連科目		

授業内容	
授業項目	授業項目ごとの達成目標
1. 音楽の要素としくみ 2. リズム 3. メロディ 4. ハーモニー 5. 楽典 (8回)	・音楽のきまりを理解できる。 ・音楽を身体で感得できる。 ・音楽を注意深く聞くことができる。 ・音の組み立てを理解できる。 ・記譜能力を身に着けることができる。
前期中間試験	実施しない
6. 物語と音楽 7. 絵画と音楽 8. 合奏(アニメ・メドレー) (7回)	・音符とリズムの関係を理解することができる。 ・有名な曲を演奏することができる。 ・アンサンブルを楽しむことができる。
前期期末試験	実施しない
9. 創作 10. 音楽史 11. アメリカ大陸の音楽 (8回)	・メロディーに詞をつけることができる。 ・自作の詞にメロディーをつけることができる。 ・音楽の文化的、歴史的な背景を理解できる。
後期中間試験	実施しない
12. ドイツの音楽 13. イタリアの音楽 14. 合唱 15. まとめ (7回)	・諸民族の音楽を特徴を捉えることができる。 ・楽曲の構造や楽器とメロディーの関係を学ぶことができる。 ・リズム、メロディーを正しく演奏することができる。 ・ハーモニーを組み立てることができる。
後期期末試験	実施しない

到達目標			
1. 音符や休符の示すリズムと音階を理解し、正しく読み書きができる。			
2. 正しく楽器の演奏ができる。			
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	楽譜によって正しく演奏でき、メロディーを正しく記譜することができる。	楽譜の意味を理解できるが、記譜することができない。	楽譜の読み書きができない。
評価項目2	キーボード、リコーダー、ギターという、タイプの異なる楽器を複数演奏できる。	キーボード、リコーダー、ギターのうちひとつを正しく演奏できる。	楽器の演奏ができない。

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60			+10	40		100
基礎的能力	40				20		60
専門的能力	10				10		20
分野横断的能力	10				10		20